

CSW61

政府代表団ユース代表として &
ユースフォーラムへの参加

船引はるか

日本パシイワ / 東京大学4年(当時)

略歴

- 2017.4- 人事系コンサルティング会社に勤務
- 2017.3 東京大学教養学部卒業
専攻: 国際関係論
- 2017.3 CSW61に日本政府代表団ユース代表として参加
所属: 日本パシイワ
- 2016.5-2017.2 国連人口基金東京事務所インターン



New York



Tokyo

YOUTH FORUM 概要

世界中から1000人近くの若者が参加し、2日間にわたってジェンダ―格差に関する優先課題を議論

- UN Women事務局長をはじめとするハイレベルの方々によるスピーチ
- 活動家などによるパネルディスカッション
- 少人数に分かれた議論、ナレッジシェアリング
- ネットワーキング

参加者で「=」サイン



政府代表団ユース代表として

ユース代表としての仕事

- ユース・フォーラムの記録
(A4 5枚程度)
- ユース・フォーラムでの発言
- 政府ブリーフィングにて簡単な報告
- (ユース関連のサイドイベントへの出席、記録)



学び・次年度に向けて

- 政府代表団の方々、講師の方とお話できる貴重な機会、外務省との接点の一つ
- 必要なスキル
 - ジェンダー課題への興味・ベースの知識
 - 語学(記録・他国のユースとの交流)
- 今年度は形式的な面が強かったが、次年度以降は若者が意思決定により深く関わることのできる制度ができることを期待

